

#2262

# XRS

## SPORT REVERSIBLE

この度は、イーグル模型取り扱いのXRSをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。  
この日本語説明書と英文マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。XRSは1/10(4-7CELL 15T以上)から1/24サイズのRCカー用に開発された最新超小型アンプです。ノバック社の最新テクノロジーを盛り込み4-7CELL、540サイズモーターまで対応出来ます。そしてサーボ出力には5V1Aのレギュレーター (BEC)を内蔵しコンパクトながらハイ・パフォーマンスを実現致しました。また従来のノバック製品同様、ワンタッチセットアップボタンは送信機の設定にかかわらず簡単に初期設定ができ、スマート・ブレーキ機能はその他ユニットに対する負担と発熱を最小限に押さえます。

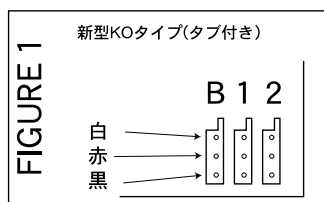
### ☆使用上の注意

- アンプ (XRS) は水や水分をさらいます。故障の原因となりますので気を付けてください。
- バッテリーの接続極性には十分お気を付けてください。
- モーターは540サイズ(15T以上)までとし、1/10より小さいRCカーに使用してください。  
(極度にモテファイドした物や著しくコンディションが悪い物には使用不可)
- バッテリーは4-7CELLで使用してください。
- 極性を間違えない様に配線してください。
- ショックキー・ダイオードは使用しないでください。
- 使用しないときは常にコネクターを外してください。
- 使用時には、必ず送信機側よりスイッチを入れ次にアンプを入れます。切る時は逆にアンプから先に切ります。
- ターミナル部でのショートに気を付けてください。コードには必ず絶縁を行ってください。

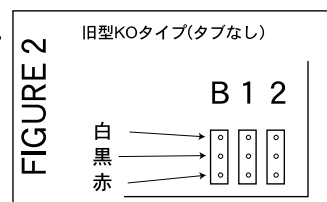
### ◇特徴

- 入力電圧：4-7CELL(4.8V~8.4V)
- モーター：540サイズ(15T以上)まで
- コネクター：タミヤタイプ
- 出力電流：前後進、最大40A
- オン抵抗：0.0055オーム
- BEC：5V1A
- PWM高周波：1000ヘルツ
- 保護回路：温度感知式
- サイズ：27.9X33.3X13.5mm
- 重量：36g

《図.1》



《図.2》



### ☆使用方法

#### STEP.1

- 1) アンプ(XRS)の受信器ワイヤーが使用するレシーバーと同じ極性になっているかご確認ください。もしも、違っている場合は上記の図1、2を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。

#### STEP.2 装着方法

- 1) 受信器はアンプ、モーター、パワーワイヤー、バッテリー、サーボなどからなるべく離してください。と言っても1/18~1/24カーでは限界がありますので、それぞれを積み重ねなければいけません。またアンテナポストと受信器はなるべく近い位置に装着しアンテナを短く切らずに立ち上げてください。
- 2) アンプは両面テープで上記のことに注意して装着してください。
- 3) XRSのオンオフ・スイッチは両面テープで使いやすい場所に取り付けます。
- 4) 最適な装着箇所とはパワーワイヤーがTバーやサスペンションなど可動箇所干渉しない場所のことです。XRSに風が通る様に装着することで過熱を防ぎ効率のよい送電ができます。

#### STEP.3 接続方法

- 1) ショックキー・ダイオードは使用しないでください。アンプ(XRS)が壊れます。
- 2) レシーバーワイヤーの極性を今一度ご確認ください。
- 3) タミヤコネクター側に4-7CELLのバッテリーを極性に注意して接続してください。(写真大STEP3)
- 4) XRSからモーターへの接続は黄色のコードが+、青コードが-です。

#### STEP.4 送信機セット

- 1) フル・スロットルの調整ボリュームは最大にセットしてください。
- 2) フル・ブレーキの調整ボリュームは最大にセットしてください。
- 3) フル・スロットルのパワーカーブは0にセットしてください。
- 4) 送信機のリバーススイッチはどちらでも構いません。
- 5) スロットルのトリムは中央にしてください。
- 6) トリガーの電子切れ角調整は50%前進：50%ブレーキにセットしてください。
- 7) トリガーの機械的切れ角調整も50%前進：50%ブレーキにセットしてください。

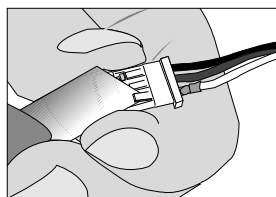
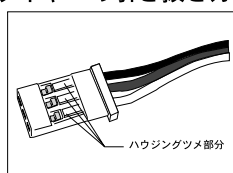
#### STEP.5 アンプのセット方法

- 1) 送信機のスイッチをオンにします。そしてアンプのスイッチをオンにします。
- 2) ~6)

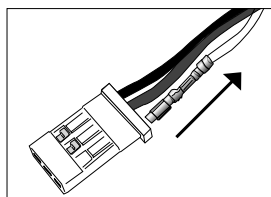
送信機のトリガーをニュートラルポジションにセットしワンタッチセットアップ・ボタンを押し続けます。約3秒後に赤のLEDランプが点灯したら、ボタンを素早く離します。と同時にトリガーを最高速ポジションにします。緑のLEDが点灯したら、次にトリガーを最大ブレーキポジションにすることで緑のLEDが点滅に変わります。そして、トリガーを離すと赤のLEDランプ点灯にもどりセットが完了します。

### 新型サーボワイヤーのコネクター・ピンの交換方法

#### ワイヤーの引き抜き方

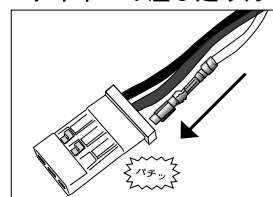


- 1.引き抜きたいワイヤーのハウジングのツメ部分をカッターの刃などを用いて持ち上げます。  
(この時、ツメを折らないように注意してください。)



- 2.ツメ部分を持ち上げたままワイヤーを引き抜きます。

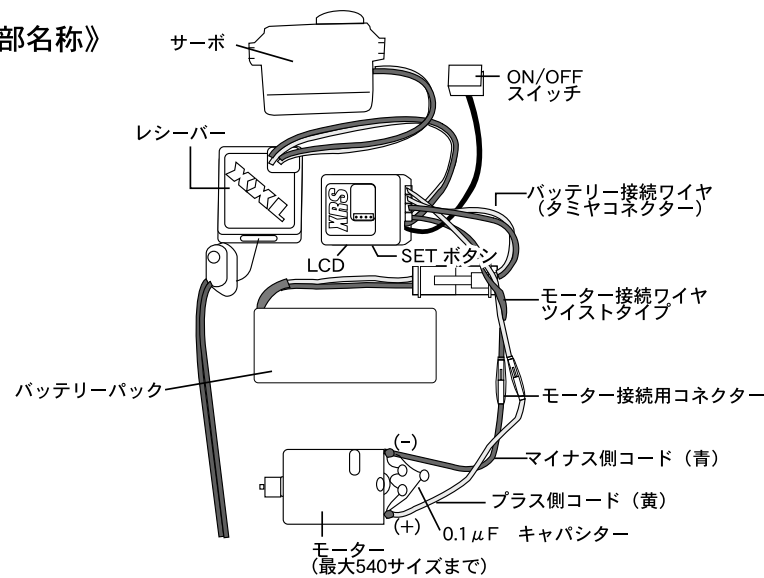
#### ワイヤーの差し込み方



- 3.上図のようにコネクターをしっかりと差し込みます。  
(逆接はとても危険です。故障の原因となりますのでよくご確認ください。)

\*フタバへはそのまま使用できますが、サンワ又はKOの旧型受信器には極性が現在と違うものがあります。プロポ側の説明書と共によくご確認ください。

## 《各部名称》



プロテクション：前進中、急にバックへ入れてもプロテクション回路が働き、バック致しません。一度ニュートラルに戻してからバックさせて下さい。

## トラブルと解決方法

## # サーボは動くがモーターが回らない？

- 1) アンプの安全装置が働き停止した場合はアンプを冷まし、少しマイルドなモーターに交換するかピニオンギヤを少し小さい物に交換する。
- 2) モーターとモーターキャパシターをチェックする。
- 3) アンプが正しくレシーバーのアンプの場所に差し込まれているか？また、レシーバー・ワイヤーの極性が正しいか確認してください。
- 4) 以上の項目をチェックしても解決しない場合はサービスカウンターにご相談ください。

## # スロットルを動かした時に誤動作を起こす場合。

- 5) モーターキャパシターに異常がある場合、または正しい値の物が付いていない場合。
- 6) レシーバーやアンテナワイヤーがアンプに近すぎる場合。
- 7) 劣化が激しく、通電性が悪い場合。
- 8) モーターブラシの通電性が悪い場合。
- 9) 過度な電流が流れるモーターの場合。

## # モーターとサーボが動かない場合。

- 10) 送受信システム、クリスタル、バッテリー/モーターコネクター、コードの全ての接続と指定極性を確認してください。
- 11) 以上の項目をチェックしても解決しない場合はサービスカウンターにご相談ください。送受信システムに何らかの問題があるかも知れません。

## # モーターは低回転で回るが、高速が出ない。

- 12) モーターとバッテリーコネクターをご確認ください。
- 13) バッテリーとモーターに異常がある場合。
- 14) 送信機、またはレシーバーの設定がくるっている場合。

## # モーターが逆転する場合。

- 15) モーターの配線が逆になっている場合。

☆製品保証につきましては、一部アメリカ国内保証と異なりますが、ほぼノバック保証に準じて処理させていただきます。保証依頼の場合はディーラーステッカーが必要になりますので購入後必ずアンプの側面に貼っておいて下さい。

☆ディーラーステッカー↓